

総合計画審議会等の意見一覧（今後の参考とする意見等）

NO	項目名 プロジェクト名	委員名	意見
<b>&lt; 第116回総合計画審議会（平成27年6月13日）の意見 &gt;</b>			
1	PJ編 策定にあたって	広瀬委員	「めざすべき4年後の姿」の「未病を治し健康長寿の神奈川」の記載について、単に寿命を延ばすことだけではなく、「高齢者になっても誰もが尊厳をもって生き生きと健康に暮らし」としてはどうか。
2	PJ編 策定にあたって	広瀬委員	「めざすべき4年後の姿」の「ひとのチカラを最大限に生かす神奈川」と「個性が輝き魅力あふれる神奈川」の記載に具体的な取組み内容を記載してはどうか。 （「女性の活躍や子ども子育ての支援など」、「地域活性化や環境保護など」）
3	PJ編 策定にあたって	関委員	神奈川の戦略と柱の関係を年表のデザインページのページで表現してはどうか。その際、戦略の説明文は資料1の58ページの表現を記載してはどうか。
5	PJ編 策定にあたって	関委員	実施計画策定の主な背景の「多様な働き方や課題を抱える子どもたちなど」の見出しを「人のチカラを伸ばせない要因」としてはどうか。
6	PJ編 策定にあたって	関委員	めざすべき4年後の姿の「ひとのチカラを最大限に生かす神奈川の説明を「年齢や性別に関わらず一人ひとりを輝かせ、多様な人が集うオリンピック・パラリンピックを盛り上げる神奈川を実現します」としてはどうか。
7	PJ編 PJ2 医療 PJ3 高齢医療福祉 PJ4 障がい者福祉 PJ14 子ども・青少年	山口委員	医療や高齢者福祉、障害者福祉、青少年行政については、それを支える人材の育成・定着が必要なので、対策として明記する必要があるのではないが。
8	PJ編 PJ3 高齢者福祉	大賀委員	高齢者の対策は、ハード面より福祉人材の確保など、ソフト面での対策をどうするかが問題であり、特養の整備床数といったハード面を数値目標とすることに違和感を感じる。
9	PJ編 PJ3 高齢者福祉 PJ4 障がい者福祉 PJ17 雇用	関委員	高齢者、障害者が社会参加し社会の支え手になる点を強調してはどうか。例えば、 「高齢者福祉」のプロジェクトのねらいを「高齢者が安心して支え合ってくらせる地域づくり」に修正してはどうか。  「障がい者福祉」のプロジェクトのねらいに「社会参加や就労支援」もねらいに追加してはどうか。  「雇用」のプロジェクトのねらいを「若年者、高齢者、女性、障がい者などの就業支援」に修正してはどうか。
10	PJ編 PJ4 障がい者福祉	佐々木委員	障害者自立支援法の流れを踏まえ、「障がい者福祉」のプロジェクトで、障がい者の社会参加や就労支援など、精神障害者も含めた表現としてはどうか。
11	PJ編 PJ6 産業創出	川名委員	中小企業では人材の不足が課題となっており、人材育成の視点も含めてはどうか。
12	PJ編 PJ9 マグカル	いとう委員	「マグネット」には反発のイメージもあるので、「マグネット・カルチャー」については、人を引き付けるというイメージを持たせるような表現としたほうが良いのではないが。
13	PJ編 PJ10 農林水産	高桑委員	直接、総合計画の記述に関する意見ではないが、農林水産の関係では都市農業振興基本法の施行を踏まえた、施策の展開の検討をお願いしたい。
14	PJ編 PJ10 農林水産	大賀委員	農林水産の振興については、大都市近郊の農業としての特徴をだし、食の提供だけでなく、福祉的活用や教育的活用、観光農園など農林水産業としての神奈川らしさを出したらよいと思うが、それがみられないように感じる。今後の農林水産施策の中で、そのような視点ももって取り組んでほしい。

NO	項目名 プロジェクト名	委員名	意見
15	PJ編 PJ15 教育	木村委員	18歳の選挙権の繰上げ問題などに関する、神奈川県でのシチズンシップ教育の取組みについて、例えば、教育のプロジェクトのキャリア教育などの推進と並べて記載してはどうか。
16	PJ編 PJ21 自然	高桑委員	自然のプロジェクトの「野生鳥獣の保護管理の推進」について、農業の現場において鳥獣被害は非常に深刻な問題となっており、鳥獣被害対策に関しては「保護管理」というよりは、「適正化」といった表現が良いのではと感じる。

NO	項目名 プロジェクト名	委員名	意見
17	数値目標	角野委員	プロジェクトのねらいに対して数値目標がやや具体性にかけるのではないが。例えば未病のプロジェクトを未病センターの設置数のようなハードで進捗を管理していくことに違和感がある。
18	全般	丸山委員	個々の表現としてはこのままで良いが、各プロジェクトが単体で完結するのではなく、全てのプロジェクトが関係性をもってつながっているといった全体像を表現できれば良いと思う。
19	全般	関委員	実施計画の「プロジェクト編」と「主要施策・計画推進編」の表紙を異なる写真としてはどうか。
20	全般	関委員	「障がい者福祉」のプロジェクトの写真を車椅子の写真ではなく、もう少し社会参加している障害者の写真としてはどうか。
21	全般	関委員	雇用のプロジェクトの写真を女性のみならず、高齢者や障がい者が働く写真を追加して、写真を3枚にしてはどうか。
22	その他	川名委員	性同一性障害の問題については、渋谷区で条例が施行されるなど、この問題に悩んでいる人もいますので、公共の場での配慮などについて検討が必要ではないか。
23	その他	川名委員	超高齢化社会の問題については、地方都市との自治体連携により、地方の特養への入居など移住促進策として検討してはどうか。
24	その他	松崎委員	今後、あらゆる分野で、人材不足が顕著になってくるとされる。総合的な人材戦略について検討する時期にきているのではないか。

< 第73回計画推進評価部会・第16回計画策定専門部会（平成27年6月9日）の意見 >

1	PJ編 PJ2医療	大久保委員 岡谷委員	県立看護専門学校での4年制導入については、大学卒の学位が取れない点や、看護師免許の取得に時間がかかるといった点で志望者のニーズに合わないのではないか。
2	PJ編 PJ2医療	岡谷委員	看護師の実践能力向上のためには、教育機関と病院がどのように連携してOJTのしくみを作るのかが一番重要。看護学校で実践的な教育を行うのであれば、シミュレーションセンターなどの環境をきちんと整備するのであればモデルケースとなる可能性もあるが、中途半端な形であれば無意味なものになる恐れがあるのではないか。
3	PJ編 PJ6産業創出	山本(亮)委員	中小企業支援については、経営的な面に偏っているので、技術的な面でも支援策を充実させる必要があるのではないか。
4	PJ編 PJ23都市基盤	山本(佳)委員	プロジェクト23のねらいに記載されている「老朽化するインフラへの対策や都市機能の集約化」は、今後着目が必要な重要な視点である。具体的な取組みの中で、劣化する社会資本の更新や改築・改善といった視点を考慮してほしい。
5	PJ編 神奈川の戦略	木村委員	(参考資料1 No.12に関連して)「ロボットと共生する社会の実現」については、「メイド・イン・神奈川のロボットが社会にとけ込み、基本的人権や人間性を抑圧することなく、いのちや生活を支えるパートナーとして」とした方がよいのではないか。
6	PJ編 PJ14子ども・青少年 (数値目標)	池本委員	「社会的養護を必要とする子どものうち、里親・ファミリーホームで養育される子どもの割合」は、海外と比較して低い状況にあるので、もう少し高い目標値を設定できないか。
7	主要施策編 産業・労働	山本(亮)委員	国では、公設試験研究機関の持つ知的財産に関するポリシーが企業有利にシフトしている。企業側が、県より国と仕事をした方がよいという考えに傾きかねないため、県においても、中小企業への支援や連携を進めるため、県有知的財産の維持活用が適正に行われるよう、タイムリーに見直しを行う必要があるのではないか。
8	主要施策編 健康・福祉	大木委員	主要施策No.404「手話を利用しやすい環境の整備」の取組みの内容が「手話の普及などに関する施策の推進」だけになっているが、手話言語条例が施行されたことも踏まえ、取組みをより充実させる必要があるのではないか。
9	全般	牛山部会長	デザイン版では海の写真が多用されているが、神奈川は海だけではないので全体のバランスを考慮していただきたい。

NO	項目名 プロジェクト名	委員名	意見
10	その他	山本(佳)委員	大学に入学する社会人の増加や、社会人向け大学院の充実など、大学を取り巻く状況が変化している。社会人のスキルアップのための学び直しや、高度職業人養成を支援する取組みを進めていただきたい。